

# テーマ 「 そばの作付けによる遊休農地の解消 」

益田市農業委員会

## 活動内容

土地所有者は高齢により有効に利用する事無く、永年にわたり耕作放棄地となっていた農地である。

周辺には農地があり営農に悪影響を及ぼすおそれがあるため、農業委員が隣地を所有し、耕作している方に遊休農地を斡旋。

益田市農業再生協議会と協力し、国の耕作放棄地再生利用緊急対策事業を利用、農地の再生利用を行った。8月にはそばの作付けを行う予定である。



(再生後)



(再生前)



(作業中)



## 取り組み結果

雑草の刈り払い、重機による立木伐採抜根を行い、耕起整地することによりそばを作付けし、遊休農地の解消を図る。

## 会長コメント

耕作放棄地が年々増加の傾向にある中、大部分が草刈り等の管理としての保全に終わっている。この事例のように、今後とも生産に結び付く取り組み活動を指導・支援していきたい。

# テーマ 「 農業者年金の加入推進の取組み 」

益田市農業委員会

## 活動内容

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を図るとともに、農業の担い手の確保に繋げるため、担い手となる政策支援対象者を中心に、家族経営協定家族を含め、積極的に訪問し農業委員の日頃の活動や、農家との付き合いの中で信頼関係を築くことで、加入推進に役立てた。

また、農業者年金制度について、広範な農業者への周知を図るため、農業委員会だよりに掲載すると共に、告知端末による放送、JAが発行している広報誌にチラシ等を添付するなど、広報・宣伝活動を行った。

## 取組み結果

加入推進部長、地元農業委員、農協職員、事務局等が協力しながら女性1人を含む対象者に対し、繰り返し個別訪問を実施し推進を行った結果、本年度7名の新規加入に至った。

特に若い農業者(20歳から39歳)の加入が5名と目標を達成した。

## 会長コメント

加入推進においては、推進員と農家との信頼関係と、繰り返しの訪問活動が大事と思われ、日頃対象者はもとより親との付き合いを大切にしている。

しかし、農業所得の将来にわたって安定的確保への不安が加入推進の障害となっているが、老後の将来設計に重点を置いて加入推進をしている。